

彙報

史學研究會例會

四月十八日(土)、午後一時半より恒例の如く文學部史學科第一教室に於て開催せられた。講師及び演題左の如し。

東亞考古學に關する二三の問題

本會評議員・本學教授 梅原末治氏

蒙古逸史考 本學部講師 石濱純太郎氏

警戒報發令中の午後一時半、那波評議員開會を宣し、梅原教授登壇、これは昨今病氣保養中に、寢ながらに考へたところであるがと前置きをせられ、きはめて大きな問題を取りあげて、鋭く、しかも興味ふかく語られ、近來にないほど澤山の聴衆をうつとりさせられた。一時間にて講演終了、休憩の時間を利用して出陳の遺物の説明をしてをられる折も折、空襲警報のサイレンが高くなりひいたので、直ちに散會、速かに防空の部署についた。かくて石濱講師の講演は惜しくも割愛、次回にくりさげて御願ひすることになつてゐる。なほ梅原教授講演は本誌に掲載される豫定である。

讀史會例會

例年の如く新年度最初の例會として、五月四日(月)午後六時よ

り學生集會所に於て國史專攻新二回生の歡迎會を行ひ、折から警戒報發令下の緊張した雰圍氣の裡に西田教授・藤助教授・柴田講師以下約四十名參集しそれ〴〵談話を交驪して九時散會した。

學生の實習

讀史會主催の下に例年春秋二季に行はれる國史專攻學生の研究旅行が、時局の緊迫と共に一切中止されるに至つた爲、これに代る意味を含めて學生の實習を各教官に於て計劃され、左記の如き日程により資料の臨地研究が行はれた。

法隆寺方面、四月十七日(金) 東伏見講師指導

中門、五重塔、講堂、金堂、若草伽藍趾、寶物館、傳法堂、及び法輪寺・法起寺等を見學。

安土山方面、五月七日(土) 柴田講師指導

安土城跡、總見寺、灌嚴院、佐々貴神社等見學。

豊公展覽會見學、五月十三日(水) 魚澄講師指導

當日午後大阪城に展觀中の豊公に關する資料を見學。

東洋史談話會

新專攻生歡迎會(昭和十七年四月十四日(火曜日)、夜六時より樂友會館に於て開催。那波・宮崎兩先生以下新專攻生十二人を始め、出席者合計二十二名。

第一回例會(昭和十七年四月三十日(木曜日)、夜六時半より樂友會館六號室にて開催。左の研究發表あり、出席者二十四名にて

甚だ盛會なり。

- 一、明 代 雜 觀 三回生 小林 義 武氏
- 一、史記貨殖傳を讀む 森 鹿 三氏

西洋史讀書會

新講師及新專攻生歡迎會 五月十四日(木) 午後三時。

久しぶりに本學に講筵をひらかれた大類先生をはじめとして中山新講師、新專攻生歡迎會が百萬遍かぎやで開催され、和氣凛々たる中にも眞摯な學問的情熱を因かす歡談數刻、五時過會をとちた。出席者は前記兩講師の外原教授、井上、村田、前川講師以下全員二十二名。

地理學談話會

新入二回生歡迎會 新たに十名の二回生を迎へることゝなつた地理學教室では、その歡迎會場を時節柄、百萬遍のかぎ屋に選び五月七日(木)午後三時より、茶菓の卓を圍んで懇親の一ときを過した。會する者三十名。席上小牧教授は我が國最初の地理學教室たる名譽ある沿革を回顧し、卒業生をも含めたる教室全員の眞摯なる團結の姿を説き、氣鏡の新二回生諸氏に若々しい創意を求めて前途を祝ふ辭とせられた。

考古學談話會

五月七日(木曜)午後三時より五時に到る迄、百萬遍カギヤに於

いて新講師小川茂樹氏並びに新入專攻學生樋口隆康、鈴木博司二君の歡迎を兼ねて懇親談話會を開催した。出席者梅原教授、村田小川兩講師、水野前講師等十六名。新入生の感想談を終つて、梅原教授は意義深き學問を志す者の途に就いて、自分の經驗旅行談を語り、一同懇談の中に會を終つた。

昭和十七年度史學科講義題目

正 科 目

國 史

普通

國史概説第一部

西田 教授

一週時間

國史概説第二部

西田 教授

國史概説第三部

西田 教授

特殊

日本文化史の諸問題

西田 教授

中世の思想

藤 助教授

近世神道史の諸問題

柴田 講師

飛鳥奈良時代の文化(前學年の續き)

東伏見講師

朝鮮史

三品 講師

鎌倉時代の文化

魚澄 講師

演習

國史の問題

西田 教授

實習

國史實習

西田 教授

武士道史料研究

藤 助教授

東 洋 史

普通 東洋史概説第一部

那波 教授

東洋史概説第二部

東洋史概説第三部

特殊 歷史上より視たる支那の禮

宋代初期の通貨問題

遼代の文化

Altan-tobai の研究

朝鮮史

明代滿鮮交渉史

支那上代金文の研究

演習

熾煌文書の研究

講讀

二十二史劄記

實習

東洋史實習

普通

西洋史概説第一部

西洋史概説第二部

特殊

希臘精神史

希臘の建築

講讀

古代末期論

佛蘭西史學史

演習

十九世紀獨逸史

西洋史の諸問題

研究

研究室編ドイッ史學思想

史學研究法

宮崎助教授

那波 教授

那波 教授

宮崎助教授

田村助教授

石濱 講師

三品 講師

鴛淵 講師

小川 講師

那波 教授

田村助教授

宮崎助教授

普通 史學研究法

地 理 學

普通 地理學通論

普通 地理學通論

特殊 日本地政學

アメリカ地誌

政治地理

總力戰と地理學

演習 地理學諸問題

實習 地理學實習

講讀 獨逸地理書講讀

佛蘭西地理書講讀

考 古 學

普通 考古學概論

特殊 外蒙古の漢代文物

希臘建築

支那上代金文の研究

飛鳥奈良時代の文化(前學年の續き)

東亞考古學の諸問題

演習 考古學實習

日本精神史

普通 日本精神史概説

中世思想史

原 教授

小牧 教授

野滿 教授

小牧 教授

小野 講師

室賀 講師

川上 講師

小牧 教授

野間 講師

小野 講師

室賀 講師

梅原 教授

梅原 教授

村田 講師

小川 講師

東伏見講師

梅原 教授

梅原 教授

西田 教授

高山助教授

2

2

2

2

2

副科目

日本古文書學概論

未定(第三回)

陳希昌 講師

史籍講讀

藤助 教授

廣東語

鄭 講師

教育學教授法

木村 教授

梵語

足利助 教授

美術史

日本の南畫

源 講師

希臘語

Tanaka: Graecae Grammaticae Rudimenta

英語

Emerson: Representative Men

中西助 教授

Greek Elementary Reader (第一回)

田中 教授

English Short Stories

一柳 講師

Greek Elementary Reader (第二回)

松平 講師

獨逸語

關口存男 初級獨逸語文法

大山 講師

羅甸語

田中 教授

Binding: Angelica

石川 講師

Tanaka: Nova Grammatica Latina (第三回)

田中 教授

佛蘭西語

田島清編 新編佛蘭西語教科書(第一回)

林 講師

Via Latina (第三回)

田中 教授

Mauriac: Le Romancier et ses personnages. (第二回)

伊吹 講師

Plautus: Trinumus (第三回)

田中 教授

露西亞語

八杉貞利編 訂正增補初學露西亞語文法

八杉貞利編 露語新讀本卷之一

第一回

テエホフ全集

露字新開 第二回

十時 講師

伊太利語

德尾俊彦編 伊太利語四週問(第一回)

黒田 講師

十時 講師

會話作文(第二回)

マライニー 講師

國澤 講師

西班牙語

西班牙語初歩

國澤 講師

支那語

支那語發音入門 支那語法入門

倉石中支那語卷(第一回)

倉石 教授

老殘遊記二集(第二回)

倉石 教授

支那語

支那語發音入門 支那語法入門

倉石中支那語卷(第一回)

倉石 教授

老殘遊記二集(第二回)

倉石 教授

支那語

支那語發音入門 支那語法入門

倉石中支那語卷(第一回)

倉石 教授

老殘遊記二集(第二回)

倉石 教授

會 報

◇役員委員

本會では前號掲載の如く役員の異動が行はれたが、その後外山編纂委員(東洋史)が庶務會計委員に轉じたあとをうけて愛宕松男氏が委嘱せられ、第二十七卷第一號より編纂に従つてゐる。ついで今回、編纂委員(西洋史)豊田堯、編纂委員(地理學)野間三郎兩氏にかはり、會田雄次、三上正利兩氏が夫々委嘱せられた。

◇會員動靜

◇入 會

大阪市旭區毛馬町七五一 善峰 靈雄氏
 朝鮮平安南道龍岡郡吾新面住龍里 金岡 龍雄氏
 京都市左京區北白川道分町四〇 入船館 笹本 重巳氏
 同 淨土寺眞如町第四番地 西村政太郎方 中島 良明氏
 芦屋市打出下宮塚四 田島 潔氏
 京都市上京區相國寺東門前町六三七 丸山 靜氏
 同 左京區北白川平井町五九 堀正雄方 木村 篤治氏
 京都府乙訓郡新神足村大字神足小字下馬場二八 村西 淳一氏

奈良市漢國町一〇 吉井 次也氏
 京都市右京區西院今田町四二 前原與次郎方 佐藤 英夫氏
 同 左京區吉田牛ノ宮町一四 中川方 久原 潔氏
 同 北白川西町七七 渡邊留吉方 眞能 駿彦氏
 同 吉田泉殿町一 京都アバウト内 岸上 安平氏
 同 上京區紫野大徳寺町五五 芳春院内 中島 辰雄氏
 大阪府中河内郡孔舎衛村日下五五〇 白木 龍雄氏
 同 泉北郡踏尾村四二ノ二 豊田 吉藏氏
 京都市左京區下鴨宮崎町三七 末村方 福島 雅藏氏
 同 吉田近衛一四 上田すゑ方 石田 修一氏
 同 北白川伊織町六〇 三科庄方 三田 民夫氏
 同 永觀堂町 禪林寺内 佐々木利秋氏
 滋賀縣水口町二九八〇 石澤 徹氏
 京都市左京區北白川久保田町五八 片岡方 永田常次郎氏
 同 吉田泉殿町一 京都アバウト内 平松 健次氏
 同 上京區今出川通河原町西人上ル三芳町一三九 佐々木素夫氏
 同 左京區北白川別當町一一 和田方 土井 仙吉氏
 大阪市北區善源寺町三四 寺庄 映雄氏
 大津市井筒町 奥野信正方 松田 信氏
 大阪府豊中市新免九〇八 岡崎 精郎氏
 京都市左京區北白川西町一七 楠見尚文方 西山 忠夫氏
 同 淨土寺南田町七四 小林 義武氏

同 北白川伊織町五五 小林方

同 下鴨中川原町八四

同 吉田泉殿町三九ノ一 佐藤方

同 下京區間町通松原上ル 中西甚三郎方

同 左京區北白川上終町八〇 谷村方

同 大阪市東淀川區小松中通三丁目五四

大津市船頭町番外地

京都市左京區北白川下池田町八八 廣田方

同 北白川西平井町一 片山梅代方

同 淨土寺馬場町一五六 西村方

同 淨土寺石橋町二五

同 鹿ヶ谷御所町一九 京都學生會館

同 北白川別當町四〇ノ一一 尙志舎

同 淨土寺南田町一一一 伊藤千太郎方

(以上四十四氏外山軍治紹介)

廣島文理科大學東洋史學科

(右 鷲淵一氏紹介)

京都市上京區上御靈前通新町東入

(右 藤岡謙二郎氏紹介)

滿洲熱河省凌源遼化街一班四組門方二十號

◇改 姓

京都市上京區武者小路通小川東入

◇轉 居

江幡眞一郎氏

植村 雅彦氏

山蔭 卓典氏

衣笠 茂氏

秋山 博愛氏

植田 高史氏

竺 保男氏

熊田 重邦氏

片倉 勝氏

高村 正雄氏

里井彦七郎氏

岩本 深志氏

田中 雄一氏

西脇 安三氏

吉岡 義信氏

近藤 孝一氏

柱 臣氏

舊姓名 千 道雄氏

京都市上京區田中里ノ前町九

大阪市北區相生町九六

東京市外吉祥寺六一五

高知市北白石町二五 濱中千鶴尾方

京都市左京區吉田近衛町二六ノ一

同 北白川別當町 尙志會內

大阪府三島郡春日村中蘆積四五二

京都市左都區田中樋ノ口町四九 太田慶治郎方

同 下鴨宮崎町七 水月寮內

大阪市天王寺區 府立夕陽丘高等女學校內

同 東東津北之町 傳光寺境內

◇寄贈交換圖書

軍事史研究 六ノ六

京城 史學會誌 一八

嶺 郷 屯 五二七

考古學雜誌 三二ノ四二五至三

江南 踏 査 五七

國民精神文化 八ノ五三三至四

國學院雜誌 四八ノ二二三至四

國語・國文 一二ノ五四至五

平松 令三氏

稻葉 慶信氏

長 壽 吉氏

田中 章氏

三田村泰助氏

有坂 隆道氏

本庄 宗正氏

野田好太郎氏

押野 慶麿氏

野末 良平氏

田中 勝藏氏

軍事史學會

京城 史學會

滿洲古蹟古物名勝天然記念物保存協會

日本考古學會

三田 史學會

國民精神文化研究所

國學院大學雜誌部

京都帝國大學學會

岩 波 書 店

Handwritten notes on the right margin, including '京生' and other illegible characters.

Handwritten notes on the left margin, including '圖書' and other illegible characters.

史苑 一四ノ章

史淵 二〇ノ章

史學研究 一三ノ章

史學雜誌 五三ノ章

史學論叢 第五

史迹と美術 一三ノ章

宗教研究 二四

人類學雜誌 五七ノ章

斯道文庫報 一六ノ章

社會學徒 一六ノ章

社會經濟史學 二一ノ章

京都大學史學研究室

九州史學會

三田史學會

廣島史學研究會

史學會

京城帝大文學會

史迹、美術同致會

大谷派本願寺宗學陸

日本人類學會

社會學徒社

社會經濟史學會

商業と經濟 二五ノ章

哲學研究 二七ノ章

同 三ノ章

東洋史研究 本報七ノ三合刊

東方學報 東京二二ノ三

南都七火寺の行事

文 九ノ章

法隆寺の横顔

無開 之六ノ章

蒙 古 九ノ章

歷史學研究 一二ノ章

歷史地理 七九ノ章

長崎高等商業學校

京都哲學會

北京佛教同願會

東洋史研究會

東方文化學院

鵜 故 郷 舍

東京帝大文學會

鵜 故 郷 舍

鵜 故 郷 舍

鵜 故 郷 舍

歷史學研究會

日本歷史地理學會

中央文化研究會

帝國女子學院

帝國女子學院

日本文化史論

陰明文庫

和四轉日記

陰明文庫